

龍谷大学 校友会報



【校友総数 210,000名】
2023(令和5)年9月30日
第97号
発行=龍谷大学校友会
編集=校友会広報部会
https://www.ryukoku.ac.jp

京都市伏見区深草塚本町 67
龍谷大学内
校友会事務局
TEL075-645-2015 FAX075-645-2017



校友会賞受賞者、校友最前線、校友短信	2面
経営者登場、Who's Who	3面
親鸞聖人生誕850年に際し、その教えを聞く	4面
親鸞聖人御誕生850年立教開宗800年慶讃法要へ寄せて	5面
学部同窓会、サークル、OBOG会の活動	6面
支部の活動、コラム	7面
仏教に学ぶ、校友のお店	8面

Ryukoku Univ. Alumni News No.97

変革するキャンパスに新風

～深草に夢の架け橋・大宮に中高大の連携校舎～

龍谷大学(以下、「本学」)は、創立400年を迎える39年度末までの長期計画「龍谷大学基本構想400(構想400)」の取り組みとして、「龍谷大学キャンパスブランド構想」を推進しています。このたび、深草・大宮の両キャンパスで、次のような施設整備事業が実施されます。



◆「つどい、つながり、つむぐ」七条大宮のランドマーク「黎明館」大宮キャンパスに誕生

従来、文学部(3、4回生)、文学研究科、実践真宗学研究所の学びの場であった大宮キャンパスは、25年4月には心理学部1期生が3回生となり、ここでの学びがスタートします。また26年には付属平安中高(以下、「平安」)が創立150周年を迎えます。それに向けて本学と平安の施設整備事業を一体的に実施します。同一校舎を大学と中高とでシェアしながら、ともに学ぶ空間をデザインすることで、学校法人龍谷大学(以下、「本学」)だからこそ新たな「中高大連携」の可能性を探究し、実践する場をつくり、ウェルビーイングな未来社会をつむぎだすことのできる人材を育成することを目指します。

を担うのが、25年4月に竣工予定の新校舎「黎明館」です。「黎明」は夜明けのことであり、ものごとの始まりを意味します。七条大宮の北西、七条通沿いに建設する同校舎には、大学施設として教室や研究室、臨床心理相談室(大人と子ども)のこのクリニックなどを、中高施設として図書室や自習スペース、食堂を含むコミュニケーションスペースなどを配置します。このように同一校舎を大学と中高とでシェアしながら、ともに学ぶ空間としてデザインすることは全国的にもきわめて稀であり、大きな特長といえます。また「黎明館」の七条通に面したエントランス付近には、学生や生徒だけでなく地域住民や観光客など一般の方々もつどいことのできるオープンテラスカフェを設置し、地域社会との

◆「深草を森にする」をコンセプトに、キャンパスの各所に深草の森を再現する豊かな緑地を配置

「深草を森にする」をコンセプトに、キャンパスの各所に深草の森を再現する豊かな緑地を配置

つなぐの場を創出します。「黎明館」を中心に多様な人がつどい、つながりながら、新たな価値創造によって、ともによりよい未来をつくり、新たな歴史をつむぎ、伝えていくランドマークへと育てていきます。

◆「深草を森にする」をコンセプトに深草キャンパス大規模施設整備

サステイナビリティ実現に向けた森のキャンパスへ

現在、社会科学系の学部を中心に構成している深草キャンパスに、25年4月から社会学部が移転してきます。これにより深草キャンパスは社会科学の集積拠点となります。目まぐるしく変化する社会環境において社会科学の叡智を結集し新たな知や価値を創出していきます。

◆「深草を森にする」をコンセプトに、キャンパスの各所に深草の森を再現する豊かな緑地を配置

北・南・西にエリア分けをし、教育・研究・社会貢献及び大学運営をより効果的に推進するため

◆「深草を森にする」をコンセプトに深草キャンパス大規模施設整備

サステイナビリティ実現に向けた森のキャンパスへ

現在、社会科学系の学部を中心に構成している深草キャンパスに、25年4月から社会学部が移転してきます。これにより深草キャンパスは社会科学の集積拠点となります。目まぐるしく変化する社会環境において社会科学の叡智を結集し新たな知や価値を創出していきます。

◆「深草を森にする」をコンセプトに、キャンパスの各所に深草の森を再現する豊かな緑地を配置

北・南・西にエリア分けをし、教育・研究・社会貢献及び大学運営をより効果的に推進するため

龍谷ミュージアム

秋季特別展「みちのく いとしい私たち」

江戸時代、全国の多くの寺院では、上方や江戸で造られた金色に輝く立派な仏像が本尊として安置されました。一方、小さなお堂や祠、民家の仏壇や神棚などには、大工やお坊さんなど仏師ではない人々によって作られた、素朴でユニークな仏像・神像(民間仏)がまつられ、人々に大切に護られてきました。この特別展では、青森・岩手・秋田に伝わった民間仏を中心にご紹介します。

みちのくの厳しくも豊かな風土の中、人々の暮らしにそと寄り添ってきた、やさしく、いとしい私たちの魅力あふれる造形をご覧ください。

山神像 江戸時代
兄川山神社
(岩手県八幡平市)
撮影 須藤弘敏

- ◆会期:2023年9月16日(土)～11月19日(日)
- ◆休館日:月曜日(ただし、9月18日、10月9日は開館) 9月19日(火)、10月10日(火)
- ◆開館時間:10時～17時(10月6日、13日、20日、27日は～20時) ※最終入館受付は閉館30分前まで
- ◆入館料:一般1,600円
- ◆問い合わせ:龍谷大学 龍谷ミュージアム
TEL: 075-351-2500
https://museum.ryukoku.ac.jp/

◆「深草を森にする」をコンセプトに、キャンパスの各所に深草の森を再現する豊かな緑地を配置

北・南・西にエリア分けをし、教育・研究・社会貢献及び大学運営をより効果的に推進するため

2023年度ホームカミングデー

- 瀬田キャンパス: 10月28日(土)
受付 10:00～15:30
模擬店開店時間 10:30～16:00
- 深草キャンパス: 11月4日(土)
受付 10:00～15:30
模擬店開店時間 10:00～16:00
龍谷賞贈呈式 11:00～11:30(顕真館)
※学生模擬店チケット1,000円分進呈

2023年度校友音楽祭

日時 11月26日(日)14時～16時
場所 龍谷大学響都ホール校友会館
テーマ 「音色で紡ごう、過去から未来へ」
※会場ロビーで思い出の写真パネル展示
(出演) ラポール OBOG 会、吹奏楽部(現役生)
フォークソング認定同好会 黄色いトマト OBOG 会
軽音楽部 OBOG 会、吹奏楽部 OBOG 会

より一層、地域社会との一体化が促進されることになりま。また、西エリアには学生の課外活動の拠点として、トレーニング室や音楽系サークルの練習室等を設置します。

そして、各棟には、多様な人々がつどい、キャンパス機能として「オーラルジェンダートイレ(仮称)」を整備予定です。これはジェンダー問題に関心の高い学生と教職員が連携して計画しています。



課外活動の拠点 紫光館別館跡地新棟



2号館北側新棟

「龍谷大学」心の講座

オンデマンド配信!

煩悩とクリエイティビティ KLESHAS AND CREATIVITY 煩悩と共に生きるための学び

1 株式会社CAMPIRE 代表取締役 家入一真
2 いきものがかり HIROBA圭樹 水野良樹

私たちの中にある「小さな煩悩」を社会のための「大きな煩悩」へ

龍谷大学校友会 公式SNS

SNSを通じて色々な情報を発信していきますので、是非ご登録をお願いします。

Facebook Instagram X (旧Twitter) LINE

龍谷ミュージアム 無料優待券
期日:2023年11月19日(日)まで
(同伴者1名を含め 無料でご入館いただけます)

第23回 校友会賞受賞者

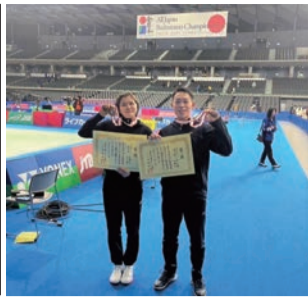
課外活動などで顕著な成績を上げ、母校発展の気運を盛り上げた学生(在学生)に対して、その功績を称え、表彰しています(学年は22年度)。

5月21日、昨年に引き続き対面で開催された降誕会法要。今年はソーシャルディスタンスの座席制限が撤廃され多くの参加者の前で校友会賞の贈呈式を執り行いました。



団体 バドミントン部 (男子)

学生最高峰の大会である全日本学生バドミントン選手権大会において、見事優勝を果たし、同大会での優勝は西日本の大学として史上初という快挙を遂げました。



個人(バドミントン部) 佐藤灯(政策学部4年) 西大輝(政策学部2年)

団体 吹奏楽部(4名) (クラリネットアンサンブル)

第46回全日本アンサンブルコンテスト(大学の部)において、1回生の4人編成ながら、高い個人技術に加え、豊かな音楽性とアンサンブル力が要求される難易度の高いクラリネット四重奏で金賞を受賞し、全日本吹奏楽コンクール(大学の部)での金賞受賞にも貢献しました。



23年度校友会賞贈呈式

校友会総会 & 交流会

4年ぶりに対面開催

6月13日、23年度校友会総会と交流会を開催しました。

会場は旧学友会館(通称「学館」跡)にできた「成就館(じょうじゅかん)」。校友会は、ちょっとしたライブやイベントができる「ライブシアター」で、その後の交流会は成就館1階「Cafe Ryukoku &」で実施しました。

「成就館」は、そのお披露目は20年4月からの予定でしたがコロナで開館が延期となり、規制が緩和されて、ようやく学生の諸活動や学部同窓会、支部のイベントでも使っていただけでもいいようになりました。

校友会では赤松校友会長のあいさつに続き、議長に町田副会長を選出しました。

菅谷事業部長が22年度の事業報告と23年度の事業計画について、成松総務部部長が22年度決算と23年度予算について、泉広報部部長がHP、SNSを活用した広報の取り組みについて説明しました。



校友会の様子

その後、「成就館1階 Cafe Ryukoku &」で、「旧学館食堂の今」を楽しみましょう。をコンセプトに思い出に思いを馳せる交流会を開催しました。

参加費は千円。レストランのお料理、とりわけ自慢の手作りドレッシングも人気で、「今の学生さんはこんなランチを食べているのか、自分の時は豪華なランチがコップAだった」などの思い出話に盛り上がりました。

大学内の各部署、校友会本部から提供されたグッズをかけたのくじ引きも盛り上がり、4年ぶりの対面開催のひと時を大切に感じる交流会となりました。



校友最前線

気象予報士 NHK松山放送局キャスター

田中 勇作さん (17年法卒)



龍谷大学に入学した13年に豪雨災害があり、ボランティアで救へ行きま

した。複数大学で構成されているボランティアサークルに所属していたのですが、真夏の炎天下の中、かなり過酷な状況での作業でした。

もともとは教員志望で就職課程をとっていましたが、沖縄で戦没者の遺骨収集のボランティアをした時に、教員になるにも自分は知らないことだらけだと気づき、就職課程をやめました。

目標を失ったせいも2回生の頃は何もせず過ごす日が続きましたが、これではいけないと思い単独でカナダに短期留学をしました。自分で探し自分で費用も捻出しました。この留学で一歩が踏み出せたと思います。

4回生で就活に向けて動き始めた時に偶然、網膜剥離が見つかり手術を受けました。この大切な時期になぜ...ととても焦りましたが、防災に関わる仕事がしたいの思いが強く、防災メーカーに就職しました。どうすれば災害から人を守ることができるのだろうと、その思いをずっと持ち続けながら社会人として仕事

を始めることになりました。 仕事は消火器や防災設備の営業でしたが、これは火に関わることで、自分には水害現場の経験から学んだことが多かったのだと思うようになりました。それが気象予報士の勉強につながりました。

ノルマのある仕事しながらの勉強は過酷でしたが、目標があると集中できる性分のようなので、入社三年目には年度半ばにノルマを超えるほど仕事を頑張っていました。

気象予報士の勉強に集中したいと決心し、退職しました。

気象予報士の試験には学科と実技があります。学科は法学部での勉強が役に立ちましたが、独学では実技がむずかしく、試験合格を目指して東京に引っ越しました。働いていたところからの蓄えが底をつきそうでしたが、自ら退路を断つという強い思いがありました。東京ではウエザーマップの方や気象予報士を目指す方と情報交換をしながら、年に2回の資格試験を受け続け、21年3月、6回目の試験で合格しました。そして、気象キャスターになるためにオーディションを受け続けた結果、NHK松山放送局でキャスターを務めることになりました。

キャスターという仕事は一年更新のきびしい世界です。6分間のオンエアに私は、4時間以上を

光学現象ハロと環水平アークと私



40回続く三八会

コロナ禍を乗り越え 学び舎に集う

私たち「三八会」は、昭和38年入学の深草学舎3期生、主に文学部の卒業生の集いです。毎年6月に全国から友が集い、今や後期高齢者層となりながらも40回も続いてきた団体です。前回は滋賀県で開催し、雄大な瀬田キャンパスに感動。「次回は島根で再会しよう」と誓いましたが、幹事の奮闘もコロナ禍には抗えず、3年越しの第40回は、「学び舎に帰ろう」と、京都の地で開催しました。

6月13日、なつかしい仲間が大宮本館講堂に笑顔で集まり、その数なんと56名。中には、脑梗塞を患っても「なんとしても仲間との再会を果たすんだ」とリハビリに励み家族に支えられて参加した人、病気のため自身に代わって孫を参加させた人、「主人が楽しみにしていたから」とご遺族が参加くださった方、生前「俺が死んだら三八会に届けたくれ」と奥さんに金一封を託してくれた人。

本館講堂で開会式と37名の追悼会を終え、本願寺参拝、書院、飛雲閣の拝観、そしてホテルに場所を移し懇親会。翌日は、清水寺の重役である同窓のご縁で、清水寺に参拝し、通常は見られない秘仏と



校友短信

京都府木津川市長 谷口 雄一さん (96年法卒) 奈良県出身。卒業後は損害保険会社に勤め、15年木津川市議会議員選挙に初当選し、19年に再選。今年4月23日木津川市長就任。



名勝の庭園を特別に鑑賞させていただきました。この集いは、龍谷大学に学んだことを誇りに思い、同窓との絆を感じ、生かされていることを喜び、日々の生きる活力となっていることを再確認した、楽しく貴重な2日間でありました。

小川信正(67年文卒) ※詳しくは左記校友 KIKOUをご覧ください。

ゼミやクラブ、サークルなどの同窓会を校友会ホームページの読み物コンテンツ「校友 KIKOU」に寄稿されませんか。 校友からの「寄稿(キコウ)」 校友への「紀行(キコウ)」 校友に「聞こう(キコウ)」 校友 KIKOU 3つのキコウが集まって出来るのが「校友 KIKOU」です。 ※この記事は、校友会HP「校友 KIKOU」にも掲載しています。

経営者登場

三共生興株式会社
代表取締役社長CEO

井ノ上 明さん
(86年法卒)

プロフィール
大阪府出身。86年三共生興入社、99年香港カンパニープレジデント、06年執行役員、09年常務執行役員、13年取締役、18年三共生興ファッションサービス代表取締役社長、19年常務取締役、20年代表取締役社長COO、22年代表取締役社長CEO就任。23年MBA取得。

身を置く環境は広く、
そして志は高く。



大学時代は、アルバイトに時間を費やした4年間でした。西梅田のスポーツ新聞社で、編集のサポートをしていました。甲子園球場で取材している記者が電話で伝える内容を文字起こしして、編集にまわす仕事です。当時はファックスやメールなど無い時代でしたから、電話で聞いた内容を原稿に書きおこしていました。試合がナイターの時は夜遅くまで仕事をすることもありました。終電がなくなるとアルバイトにもタクシーチケットをいだけた時代であり、学生では経験できないことも体験することができました。実は、自分の初任給より高いお給料をいただいていた。当時からファッションに興味があり、心齋橋でよく洋服を買っていました。

就職活動をしていて当時、三共生興といえば「フコステ」や「ハンテン」といった有名ブランドを扱っていました。ところが、私が入社した86年に「フコステ」と契約を解消することになりました。これを機に、当時の経営陣はブランドとの契約ではなく自社でブランドを所望しなければならぬと経営方針を転換し、91年に社運をかけてDAKSを買収しました。また、アジアに重点的に拡大していく方針を打ち出した時期

でもあり、入社5年目28歳の私に香港赴任の話をしていただきました。卒業旅行での海外経験や、海外事業部で英語を駆使して活躍している先輩へのあこがれもあり、「ぜひ行かせてください」と伝えました。弊社には当時から若手にチャンスを与える企業風土があり、意欲と能力のある若者にチャンスを与えて、成果に報いる会社を社是としています。

とはいえ、当時の私は全く英語を話すことができませんでした。NHKの英会話番組や英会話学校に通い英語を勉強しました。ところが、学校で習う英語と実践で使う英語は全く違い、仕事では何度も挫折感を味わいました。それでも、ハングリー精神旺盛な香港の方と一緒に仕事をし

校友 Who's Who

クボタスピアーズ
船橋・東京ベイ
ゼネラルマネージャー

石川 充さん
(92年文卒)

プロフィール
大阪府出身。92年株式会社クボタ入社。チームが初の全国社会人大会出場を果たした97年まで選手としてプレー。12年からGM職に就き、クボタスピアーズのチーム強化に力を注ぎ、ジャパンラグビーリーグワン22-23シーズンで見事、優勝に導く。

組織・チームの
「勝つ文化」をつくる



大阪府の東大阪市や八尾市は特にラグビーの盛んな地域です。当時はほとんどの公立中学校にラグビー部があり、プライドを持ってラグビーに取り組んでいた中学校が多かったと思います。元氣（やんちゃ？）な生徒はほぼラグビー部に入部するような地域で、私も中学校からラグビーを始めました。

龍谷大学では、同じ学部のラグビー経験者に誘われてラグビー部に入部しました。当時のラグビー部は自由な雰囲気でした。練習時間も短く、「日本一楽なチーム」と言われていました。同年代の留学生や先輩に社会人の日本人代表経験者など、良いメンバーがそろっていました。4年次には主将を務め、自分たちで練習メニューを考えるなど、プライドをもって活動し

たことや、現地で活躍する日本の方たちと出会えたことなど、好奇心旺盛な若い時にチャレンジできる良い環境に身を置くことができました。いろいろな人と交友関係をもつことができた経験は、私にとって大きな人生の財産になりました。在職37年のうち27年間を過ごしたこの香港での経験が私の人生の大きな転換点であり、その後、数々のチャンスを与えてもらいました。

弊社には100年続く繊維商社のわりに、平均年齢37歳と若い社員が多い会社です。「グローバルな会社・海外に興味がある」「ファッションが好き」など、同じ思い、同じ価値観を持つ入社してくる若い社員みんなに海外のビジネスのダイナミズムを経験してほしいです。

校友の著書



「子どものやる気を引き出す学習集団・授業づくり」中学校・基礎編・学校現場で役立つ授業理論と実践事例
倉橋忠(73年法卒)
A5判 198頁
Amazon社
1,800円＋税
23年2月18日発行
ISBN 979-8377959779

「親鸞聖人御誕生八五〇年 立教開宗八〇〇年慶讃法要」へ寄せて

校友会会長 赤松 徹眞

浄土真宗本願寺派本願寺(西本願寺)では、「親鸞聖人御誕生850年立教開宗800年慶讃法要」が3月25日から5月21日まで5期30日間にわたって修行された。シンポジウムやコンサートなどの協賛行事への参加者を含め、国内外から約七万五千人の人びとが参拝した。

親鸞聖人は承安三(一一七三)年、旧暦では四月一日にご誕生になったと伝えられ、新暦では五月二日のご誕生となり、今年が八五〇年。元仁元(二二四)年に浄土真宗のみ教えを『顕浄土真実教行証文類』(『教行信証』)に著されて八〇〇年となり、慶讃法要が修行されたのです。

京都国立博物館では、「親鸞 生涯と名宝 親鸞聖人生誕八五〇年特別展」が三月二十五日から五月二十一日まで開催され、十一件の国宝や重要文化財に指定されている親鸞聖人の著書や名号・影像をはじめ、貴重な法物が数多く出陳され、



「五濁悪世」の世にあって、煩惱をかかえている「凡夫」、生きとし生けるものすべてが仏になる道は、阿弥陀仏の本願力のはたらきで、大行としての無碍光如来の名を称え、正しく仏になることが定まる仲間となつて(現生正定聚)、かならず浄土に至るといふ浄土真宗のみ教えを明らかにされた。この教えを、生きとし生けるものすべてが仏になるだた一つの道、すなわち根源的かつ普遍的な仏道として開顕されたのです。

混とんとする現代で利便性や効率性を求めている私たち、そして社会の



親鸞展 展示風景(2階)

「親鸞聖人は、「未法」の「五濁悪世」の世にあって、煩惱をかかえている「凡夫」、生きとし生けるものすべてが仏になる道は、阿弥陀仏の本願力のはたらきで、大行としての無碍光如来の名を称え、正しく仏になることが定まる仲間となつて(現生正定聚)、かならず浄土に至るといふ浄土真宗のみ教えを明らかにされた。この教えを、生きとし生けるものすべてが仏になるだた一つの道、すなわち根源的かつ普遍的な仏道として開顕されたのです。

この度の法要は、日常の間に没している私たちが阿弥陀仏の光明に照らされていることに気づかせていただくご縁となりました。



親鸞展 展示風景(1階)

入館者は十一万人をこえました。龍谷ミュージアムでは、「真宗と聖徳太子」の特別展が四月一日から五月二十八日まで開催され、龍谷大学の在学生・卒業生などを含め、約一万八千六百人が入館して賑わいました。

龍谷大学は「真実を求め、真実に生き、真実を顕すことのできる」人間の育成という存在目的をもつています。卒業生・校友の私たちは、問いをもつて、親鸞聖人の浄土真宗に学ぶことにより、非我の力はたつき、絶対他力のほたらき、いのちの不思議に目覚め、生きとし生ける人びとを「われら」と受けとめて、共に歩んで行きたいものです。



親鸞展 平成知新館外観



京都国立博物館 外壁看板

闇、生きづらさや苦悩から離れられない根源はどこにあるのでしょうか。知識社会といわれて知の高度化・専門化を志向し、情報社会といわれてインターネット・SNS・仮想空間(メタバース)・対話型人工知能(AI)などに取り囲まれている私たちは、私を、社会を自明として、自らを、社会を問うという問いをもつて、向き合っているのでしょうか。



親鸞展 展示風景(1階)

大学とともに学生をサポートする事業会社「龍谷メルシー株式会社」



龍大関連グッズ・キッチンカー手配・卒業式袴レンタル

龍谷メルシー株式会社は、2013年に学校法人龍谷大学が100%出資し設立した事業会社で、この4月に設立10周年を迎えました。昨年4月には瀬田事業所を新設し、大学とともに瀬田キャンパスの活性化を推進しています。

龍谷大学の「より良い学生生活」の実現と向上のため、食の充実や卒業式貸衣装の紹介等の事業を行っております。また、龍大関連グッズの制作・販売も手掛けており、龍大ロゴ入りタオルやオリジナル紅茶(ムレスナティー)など、多種お取り扱いしておりますので、龍谷メルシー・オンラインショップをぜひご利用ください。

また、制作においても、学内サークル・団体からはオリジナルのネクタイやポロシャツ、部活動OBOG会からは創設記念タオル等のご依頼・作成は、大変ご好評をいただいております。校友会員・支部の皆様にも、ご意向に応じてグッズ・記念品等の独自企画商品も作成しておりますので、お気軽にご相談ください。

今後とも、龍谷メルシーをどうぞよろしくお願いいたします。



龍谷メルシー オンラインショップ



ふるさと納税返礼品「龍谷の味」

龍谷メルシーがふるさと納税事業者に選定

龍谷メルシー・瀬田事業所が津市ふるさと納税返礼品提供事業者として登録されました。返礼品は、農学部の学生たちが実習農場(津市牧地区)で生産し、鮮度が保てるよう真空加工した「龍谷米」、創業二百四十余年京都の老舗味噌屋(株)石野味噌とコラボした「白味噌」、日本料理「新月」(津市)監修の「小豆粥」を詰め合わせたセット(返礼品名は「龍谷の味」)です。

詳細は各種ふるさと納税サイトで、「龍谷の味」とご検索ください。ぜひ、手にお取りいただき、ご賞味ください。

◆カナダに留学して
カナダに留学してまず思ったのは、日本とは違い多文化共生社会を実感できることでした。日本ではまだ日本人が中心の社会ですが、そういうバックグラウンドを敷か

海外での一人暮らしは、自炊も初めてのことで、すごく良い経験になったと思います。現在はカナダに拠点を移し、カナダからフルリモ



タイガーモブのメンバー

誰かのターニングポイントを創造していきたい
龍谷大学国際学部を志望した理由は、様々な宗教について学べるのではないかと思ったからです。当時は英語も苦手で、海外志向の学生ではなかったのですが、グローバルキャリアチャレンジプログラムに参加し、ワークショップを通じて違う学部の方と知り合える機会をもつことができました。その時に出会った先輩の思いに衝撃を受け、「こんな人になりたい」という強い憧れが生まれました。もともと負けず嫌いの性格でしたし、自分の生きた証や社会での存在意義を確かめたいという想いを持ち続けており、留学を決意しました。

◆今後の夢
大学在学中を含め、人との出会いが今の自分に繋がっていると思います。私の恩師である大学時代の教授は、私が何かに挑戦するときに完全肯定で私のことを応援してくださいました。その経験から、私も将来は大学教授として学生の挑戦を応援し可能性を広げるお手伝いができる人間になりたいと思うようになりました。誰かのターニングポイントを創造し後押しすることに携わっていきたいと思



海外で活躍する校友

教育系スタートアップ
タイガーモブ株式会社
はしもと まい
橋本 麻愛さん

プロフィール
20年国際学部国際文化学科卒業。在学中にカナダへの留学を経験。卒業後はテロ・紛争解決に特化したNPO団体で1年間のインターンを経験。その経験から教育が世界平和を目指すうえで重要なカギになると実感し「教育」に強い興味を抱く。現在は「次世代リーダーの創出」をミッションとするタイガーモブで、多くの人の「人生のターニングポイント」を創造すべく活動中。

6月11日、梅雨空ではあったものの、午前は顕真館にて龍吟会創立60周年記念式典を開催。厳かな雰囲気の中、太鼓の音を合図に部旗・幟の入場から始まり、学歌斉唱、エール、学生部梶脇部長並びに、校友会小川副会長をはじめ、ご来賓の方々よりご祝辞を頂きました。続いて4回生薄田前幹事長の音頭で「龍谷大学龍吟会の歌」を合吟し、午後からは生協4号館食堂にて、祝賀会を行いました。初代白井先輩の乾杯で始まった会は、互いの近況や当時のエピソードを語り合ったり、伝統の龍吟会ソングを全員で歌ったりと、老いも

若きも学生時代にタイムスリップしたかのよう楽しい時を過ごしました。最後は、肩を組みながら竹馬の友、惜別の歌を歌い、龍谷大学追遠の歌とエールで締め、10年後の再会を誓って閉会しました。最後に、祝賀会の開催にあたり、大学関係者の皆様には多大なご支援を賜り、誠に有り難うございました。心よりお礼申し上げます。
(龍吟会22代 田中伸明)



龍吟会創立60周年 記念式典及び祝賀会を開催

「目に見えない心の和」をモットーに50年余り活動してきた龍谷大学混声合唱団ラポールが、コロナ禍の人数減に伴い統合、ラポールという名前が消滅して一年。これを惜しむ5期から31期の45名の卒団生によつてOB合唱団が組織され、4月に正式に京都合唱連盟に加盟しました。京都の連盟関係者も非常に喜んでくださり、過去のラポールの活動があったからこそと実感しました。

そして、「混声合唱団ラポール」として6月18日、京都合唱祭にデビューしました。当日は50年以上使用してきた団旗の色デザインをもとにお揃いのTシャツを着用しての出演です。指揮は現在もいっしょな合唱団で指導もされておられるラポール第1回定演の企画立案、指揮もされた井上一朗先輩。これはもう奇跡としか言えません。選曲は、高田三郎作曲「水のいのち」より終曲「海よ」。



混声合唱団ラポールが 復活・デビューしました

事の喜びを感じたOB、いろいろな仕事の事情もあり、いろいろな世代のOBが集まって歌えることにみんな嬉しさを噛みしめて歌いました。
(OB会長 白川保明 ラポール8期OB)

聖護院御殿で満開の桜を見ながら春らしい御膳ランチを楽しんだ後、徒歩で真如堂へ向かい、期間限定公開の貴重な「猫が描かれている」涅槃図を拝観しました。
(支部長 竹野 伸夫)

阪神支部 「神戸モダン塾」開催

3月25日、阪神支部と阪神支部龍谷小町の共同企画で「神戸モダン塾」を開催しました。桜満開宣言が出た京都の本山修験宗総本山聖護院門跡において、校友の宮城泰年御門主(54年文卒)自らお寺の中を丁寧にご案内くださるといいたいへん贅沢な企画に、参加者は熱心にお話に聞き入り、写真を撮影していただきました。

5月29日、「落語会&食事会」を茨木市の成田家で開催
出演者
島田樹さん(文学部4年)
芸名 江戸川緑治
演目 「ねずみ」
梅津幸太郎さん(文学部2年) 芸名 京龍亭館輔
演目 「動物園」



国内外の支部で対面活動再開!

当日はあいにくの雨模様でしたが校友、家族、知人の15名が参加し、在校生の日頃の落語の精進を聴いた後で美味しい弁当をいただき、楽しい時間を過ごしました。
7月29日(土)30日(日)茨木フェスティバルに模擬店を出店
昨年より復活した茨木市の行事です。
29日は子供に人気のヨーヨー釣り、スーパールすくいをメインに



経済学部同窓会

第8回ビジネスミーティングのご案内

第一部の講演会は株式会社 Harajiri Marketing Design 代表取締役であり龍谷大学客員教授でおられる原尻 淳一 氏をお招きします。第二部には交流会として、コーヒーを飲みながら、第一部を振り返りつつ名刺交換といった交流会を催す予定です。その後の懇親会までぜひふるってご参加ください。申し込み方法等は追って経済学部同窓会ホームページ等でお知らせいたします。

日時：11月3日(金・祝) 13時30分開始
場所：深草キャンパス和顔館
講演タイトル：未来型キャリアデザイン～「人生100年時代」のキャリア戦略を考える～(予定)



経営学部同窓会

7月8日、23年度「定例総会&懇親会」を深草・成就館で開催しました。19年11月開催の「卒業生の集い」から3年半ぶりの対面事業になりました。今回「どのようにすれば多く参加してもえるか?」をテーマに取り組み、キャンパスツアーと懇親会を同時開催することとし、同窓会HP・LINEと校友会HPを通じた広報を行いました。



当日は広島や長野県からのご参加を含め一般会員25名が出席されました。今年度は役員改選もあり、次世代に継承できる役員体制となり、懇親会も皆様のお蔭で盛り上がりました。これからも一般会員の方が身近に感じていただけるオープンな同窓会を目指し、情報公開(HPの圧倒的な情報量)と新規事業にも挑戦しますので、引き続きご支援ご協力を賜りますようお願いいたします。

「経営学部同窓会・卒業生の集い」
日時：11月18日(土)11時30分～ 場所：ホテルグランヴィア京都



社会学部同窓会

「設立30周年記念&さよなら瀬田キャンパス」イベント実行委員大募集

社会学部同窓会では、延期をしておりました設立30周年記念として、瀬田キャンパスの最終年となる24年度にイベントを開催いたします。

そこで、社会学部及び社会学研究科の卒業生で、イベントをお手伝いをいただける方を大募集しております。

社会学部同窓会ホームページのお問い合わせフォームに「実行委員やります」とご記入いただき、お申し込みいただけましたら事務局から追って詳細をご案内させていただきます。みなさんのご協力をよろしくお願いいたします。



国際学部同窓会

コロナウイルス感染拡大により卒業パーティーが開催できない年が続いたため、国際学部同窓会では卒業生に最良の思い出を作っていただくべく、21年度・22年度に卒業記念イベントとしてオンライン大抽選会を開催しました。

事前に参加者へ飲み物と料理をお送りし、Youtubeにてライブ配信型で開催しました。同窓会長や学部教員からのお祝いメッセージから始まり、参加者のリアルタイムでのコメントが飛び交うなど、イベントは盛況のうちに終わることができました。



政策学部同窓会

この度、政策学部同窓会主催のホームカミングデー2023を対面で開催いたします。当日は同窓会事業の説明や同窓会設立10周年を迎える25年に向けてのアイデア出しワーク、また教員の皆様にもご協力いただき、政策学部の今までと現在、そしてこれからの未来について語る懇親の場を設けます(お酒の提供あり)。政策学部卒業生の皆様、是非ご参加ください。



日時：11月4日(土)13時～16時
場所：深草キャンパス成就館1階
備考：当日は龍谷祭、校友会主催のホームカミングデーも開催されますので併せてお楽しみください。



支部の周年事業報告

岡山県支部

「多くの方々に魅了した吹奏楽サウンド」
 設立20周年記念 吹奏楽フェスティバル岡山
 4月16日、「岡山シンフォニーホール」で岡山県支部設立20周年記念吹奏楽フェスティバル岡山と題して、記念事業を開催しました。

各校の特色を生かしたレベルの高い演奏に、約千名の来場者の大きな拍手が会場一杯に響き渡り、吹奏楽サウンドを十二分に堪能していただきました。

来場者は中・高校生の皆さん、保護者の方々が目立ちました。今回の合同コンサートを聴かれたことが、将来の進路先の

これまでの周年記念事業は、主に会員中心の内容でしたが、今回は多くの県民の皆さまと触れ合う地域貢献と交流を図り、一人でも多くの方に龍谷大学への関心を持ち、認知していただくことを目的として計画しました。その結果、全日本吹奏楽コンクール出場常連校であり、国内外での演奏で、人気、実力共に関西を代表する我が母校の吹奏楽部を招聘することにしました。また地元の高実高等学校と明誠学院高等学校という岡山県を代表する全国大会出場の常連校にも出演いただき、



選択肢として龍谷大学の名を知っていたいただき、龍谷大学への入学さらには卒業後に校友会入会へと繋がっていくと確信しています。

(支部長 野崎元彰)

奈良県支部

支部設立「やさしさにあふれた20周年記念事業」
 台風2号の影響による大雨に見舞われた翌日は、雲一つない青空。朱赤の伽藍が映える薬師寺では、12年の歳月をかけて大修理が行われ、現存する平城京に残る最古の建築物であり、この4月に落慶法要が厳修されたばかりの東塔に悠久の時を感じます。

6月3日、龍谷大学校友会奈良支部の20周年記念事業はこの薬師寺にて開催いたしました。

4年ぶりの対面開催の総会には約80名の校友の皆さまが参加されました。

み、快晴の大阪心斎橋「日航ホテル大阪」において、大阪中央支部設立20周年記念事業を開催しました。支部総会終了後、「龍谷大学心の講座」として社会学部の李相哲教授に、最近の朝鮮半島情勢について、新聞報道等では伝わらない、歴史的背景や現状を踏まえたこれからの展開などをわかりやすく講演いただきました。その後の懇親会では、初代支部長の山崎一夫顧問が、20年前の大阪中央支部設立時を振り返り、「他大学に負けない同窓会組織を作りたい」という設立時の思いを熱く語られました。続いて、ご来賓の衆議院議員宗清皇一顧問、日航ホテル大阪の呉服弘晶代表取締役社長など、卒業生の皆さまから祝辞をいただき、歓談が進む中、抽選会が開催され、参加者全員が豪華景品の当選を期待し、大いに盛り上がりました。



大阪・中央支部

「たくさんのご来賓と龍大現役生とともに祝った20周年記念事業」
 6月17日、梅雨の中休

30日は新理事中井さんのアイデアのお菓子釣りを実施しました。2日間とも猛暑の中でしたが冷たい飲み物、高井支部長が自宅にて飼っていたメダカ販売(錦メダカ、楊貴妃メダカ)が大変好評でした。開催中に12名以上の卒業生が模擬店に来場しライン登録してもらい今れました。

最後に参加者全員で「逍遙の歌」学歌を斉唱し、盛会のうちに終了しました。

(支部長 辻田護司)



石川県支部

「龍大今春卒業生歓迎パーティー」開催
 7月15日、龍谷大学を今春卒業された石川県在住の校友を歓迎するパーティーを開催し、3人の新卒生が参加してくださいました。

今年支部設立10周年の節目の年で、新しい世代の校友が参加してくれることは大変喜ばしく、9月に開催予定の10周年記念支部総会にも参加すると言ってもらえたことが嬉しかったです。今後にも参加してもらえたいと思います。

(支部長 松浦顕雄)



東京支部

「学生応援を続けています!」東京支部からのレポート
 東京支部では長年にわたり、首都圏開催の学生スポーツ全国大会に関東近辺在住の卒業生に応援を募り、現役龍大生を応援しています。応援への一体感を持つため、龍大応援グッズを学生部に提供してもらい、卒業生だけでなく試合会場に来られているクラブ・サークルの部員や出場されている学生の家族とともに応援しています。今年に入って、コロナ禍では行えなかった龍大関係者一丸となった応援ができたことがうれしく、ご父兄の皆様方からも満足いただけたとの嬉しいお声もいただいています。

6月24日、「全日本学生柔道優勝大会」では、女子5人制は準決勝での敗退となりましたが、龍谷大学が優秀校に選出されるという嬉しい結果もありました。

7月2日、「日本拳法全大会」出場する日本拳法部への応援にも卒業生7名が応援に行き、龍大ハリセンを携えて声援を送りましたが、残念ながら結果はベスト8となりました。

7月14日・15日、横浜市の「全日本大学総合卓球選手権大会(インカレ)」の卓球部への応援でも東京支部の応援横断幕を掲げて応援しました。男女とも予選突破のあと



社会学部 准教授 井上見淳 (01年文院了)

今も使える 仏教用語

「娑婆」

「娑婆の空気は、うめえなあ」娑婆に出たからには自由を謳歌するぜ——よく映画やドラマで、刑務所を出所してきた強面な人がいう決めゼリフですが、この「娑婆」も仏教用語。

インドの古い言葉「サハ」を漢字で音写した言葉で、意味を取れば「忍土」と訳します。つまり耐え忍んで生きていかねばならない世界という意味なのです。ですから、刑務所の中でも外でも「娑婆」ですし、思い通りの自由を謳歌できないから「娑婆」なのです。

確かに、耐え忍ぶ世界と言われたら、その通りです。この世界に生きる人は、誰もが自分を中心に世界を描いて生きています。ですから、自分の邪魔や否定をする人は「悪い人」です。自分を応援してくれる人は「いい人」です。関わりのない人は「どうでもいい人」でしょう。

しかしながらこの「いい人」「悪い人」の区分けをお互いによく間違えてしまします。勘違いして思い込んで苦しんで、人を傷つけ、自分も傷つけられます。楽しい事もあるにはあるけど、悲し

い事もわりとある。嬉しい事も時々あるけど、悔しいことも結構ある。必死に頑張っているけれど、結果がでなければ虚しくなってきたり、つい足が止まることもある。これがまさに娑婆を生きる私たちの姿ですね。

仏教では、こうして自分中心の執われを離れ、ありのままを見透して受け入れる境地を開くと教えます。そして他者のよこごびを我がよろこびとして、他者の悲しみをわが悲しみとして生きるよきなり。いそぎまわりた

きこころなきものを、こころにあはれみたまふなり。(第九巻)

この世界は、果てしない昔からいまに至るまで、苦しみ悩んでばっかりだった旧里のはずなのに、どうにもまだ未練は尽きません。一方で、まだ生まれたことのない浄土は、どんなに心安らかな世界と聞いたところで、恋しいとは思ってやらんもん。それはやっぱりわしらの煩惱がそれだけ強く盛んなんじやよ。でもな、どれだけ名残惜しく思うておっつ

も、この娑婆にいる縁がいよいよ尽きて、どうにもこうにもならんようになって命終えていく時、わしらは浄土に参らせてもらおうや。阿弥陀さまは早く浄土に生まれたいなんて思ってもおらんことなわしらを、特に心配しておられるのじゃ(『いつでも歎異抄』より)。

ここに、あるべき方向を知らされてもなかなかならぬ歩みずらに生きている私たちの娑婆における「居場所」があたたかく示されています。この仏道を浄土真宗というのです。

の決勝トーナメントでは1回戦での敗退でしたが、早々に強豪大学との対戦にあたり、組み合わせに恵まれなかったかと思いい、これからはますます応援していこうという気持ちになって会場を後にしました。

(常任理事 松田信二)

南方リフォルニア支部

「久々の対面での集まりでは、地元エンゼルス応援も」
 南方リフォルニア支部は、23年度新年会を久々に対面で開催しました。12名程の参加者が顔を合わせて食卓を囲む久々の光景に、心が和む新年会となりました。

また、日を変えて大リーグ観戦をすることになりました。南方リフォルニアの地元球団はあのエンゼルス。レギュラー戦が始まってすぐの試合でしたが、大谷選手の堂々とした姿や試合運びに支部会員全員で大盛り上がり。一丸となって一生懸命応援し、試合が終わった後も興奮冷めやらぬといった雰囲気でした。

4年ぶりの再会、大きな声で応援する、一緒に前を歩ける喜び、支部活動の再開は本当に感動的なひと時でした。

今後このように校友の皆様にも「また参加したい」と思っていただけのような機会を創っていかうと思っています。

(支部長 中村登)



「人生は一度きり。できれば好きなことを思いっきりしたいですね」



校友のお店
スパゲッティのお店
Tamburino
(タンブリーノ)

「好きなこと」に導かれ、人とのつながりに感謝。

黒田 秀樹さん
(88年経済卒)
所属サークル
黄色いトマト

そうにこやかに語られる黒田さんは、京阪出町柳駅からほど近い京都市左京区にお店を構えるスパゲッティ屋さん「Tamburino」(以下、タンブリーノ)のご店主。「おひとり様でもお気軽に」をモットーに、定番のトマトソーススパゲッティをはじめ、旬の食材をふんだんに使った季節のメニューをリーズナブルな価格でご提供されています。

大阪・北新地のイタ飯屋さんで働いた経験を活かしたオリジナル料理をいただけるタンブリーノ。そのどこか懐かしさを感じられる味を求めて訪れる学生や常連客で賑わっています。

黒田さんの「好きなこと」への情熱は学生時代にさかのぼります。龍大時代はフォークソング認定同好会「黄色いトマト」に所属し、音楽活動で忙しい日々を送られたとのこと。その頃のファンだと



お店のロゴマークが印象的な外観

こと。ドラマーとしていくつかのバンドを掛け持ちされ、その中でも「The Mammys(ザマミーズ)」は今でも伝説のバンドです。「イカ天(三宅裕司のいかすバンド天国)90年1月TBSで放送」にも出演され、京都のみならず、ファン層を拡大しました。

「その頃のファンだと興味がある、学生時代からコピーの老舗店でアルバイトをしながら、いつか自分のお店を持ちたいと考えるようになったそうです。具体的にお店を始めようと思ったきっかけは、自分の意思を尊重し、心援してくれた父親の死、そして自身も交通事故による九死に一生を得る体験をしたことから「明日、自分が必ず生きている」という確証もない」と痛感し、これまで以上に「好きなこと」をおも



音楽関係の寄贈品で満ちた店内

達がつくってくださったそうです。また、店内にはレコードやギターなどの音楽関係の品々が並んでいます。黒田さんご夫婦は「好きなことをさせてもらっている」と気づいたのは実は最近なのだそうです。周りの人たちのご厚意に支えられていると感謝の気持ちでいっぱいです」と黒田さん。

「お客様に美味しいと言っていただけのこと、おっしゃる黒田さんご夫婦のお人柄が魅力のタンブリーノ。互いに尊敬し感謝しあう穏やかな笑顔で迎えてくれるご夫婦とお料理を求めてまた訪れたいとお店だと感じました。」



旬の食材を使った彩り豊かな季節のメニュー

Tamburino
(タンブリーノ)
京都市左京区田中
下柳町8-12 (京阪出町柳駅から徒歩5分)
TEL 075-761-9385
営業時間 11:00 ~ 22:30 (LO22:30)
日曜日・祝日 11:00 ~ 22:00 (LO21:30)
定休日 木曜日

校友会は、龍大卒業生の親睦の場であるとともに、卒業生の大切な居場所のひとつであります。特に職域支部においては、自らの仕事に関連する大切な居場所となりま。今回矯正・保護支部の総会に参加し、校友会の存在意義を再認識した次第です。(清水卓智)

仏教に学ぶ 心・行い・人となり

華厳宗管長
第224世東大寺別当
はしむら こうえい
橋村 公英

プロフィール
56年奈良県生まれ。62年5歳で東大寺塔頭正観院に入寺、79年大阪市立大学文学部史学科を卒業。82年、龍谷大学大学院修士課程を修了後、東大寺上院・大仏殿などで勤務。16年、華厳宗宗務長・東大寺執事長にご就任、18年、東大寺上院院主を兼務、22年に華厳宗管長、第224世東大寺別当に就任。

人間関係の問題や事故が起こったとき、その場で解決できる問題やそのプロセスを整理すれば解決する問題もありま。しかしどんなに対策をしても、ルールや規則があっても、本人の心掛けがなかったら、形や姿を変え、やっばり問題は起ります。なぜそういうことになったかと考えますと、多くは最後は心に行きつくことになりま。そういうとき、やはり

どの抛り所があればそれで解決できますが、いくらか規則があっても解決しない問題があります。その場合何を抛り所にしたらいのか。結局それは人の心のあり方で、そこに足を置かないと対応ができません。「心」は「人となり」がどうあるのかということを知って初めて、どういところを抛り所を探せば良いのかを知ることができると考えています。

「心」というのは人の命の働きです。それにはからだの働きと心の働きがあります。仏教では瞑想や観想を通して、心が日頃何をしているのかを知ります。「行い」というのは、心から生まれた意図意識に基づいてなされる実践や、「六波羅蜜」の「布施」「持戒」「忍辱」「精進」「禪定」「般若」を実践することを通して、自分の成長と、他の人への思いやりの心を育てます。「人となり」とは、「心」と「行い」が生み出す人の在り方です。規則などをベースにするのではなく、人の在り方である

「心」「行い」「人となり」を通して様々な人間の活動の中で問題を「ちよつと考えてみよう」と思います。東大寺では鑑真和上の命日である六月六日の日に、結縁受戒といつて十種類の戒めの言葉、戒を授ける儀式をします。まず初めに、人の心には禍が出入りする扉がたくさんあるということを聞いていただきます。扉の中には、簡単に開かれないものや、風が吹いたらすぐ開いてしまう扉もありません。ちよつとしたきつかけや油断から禍が出入りする扉があることを知るだけでもきつと役に立ちますよという話をします。人間は山のようにそんな扉を持っていますので、それを無くしてしまふことはできません。でももし主だったものだけでも戸締まりができれば、人間関係が随分楽になると思いませんかという話から始めることになっています。

戒は自律の働きを育てるでは戒とは何か。仏教で最初に学ぶことがこの戒です。仏教徒になるときに最初に習うのが五戒、僧侶になるときに最初に学ぶことが「沙弥の十戒」です。東大寺には修二会という修行があり守るべき八斎戒を授けられます。まずこの戒を習って、人の心や行い、言葉などに気をつけて、それによって自分の意志で心懸けましようというものです。戒に罰はありません。自分で心懸けなさい、自律的でありなさいということとです。規則は「こうしなさい」というある意味依存なのですが、戒は自律の働きを育てるといふ力があります。

十善戒という戒があります。十の善い行いに繋がる戒と考えて下さい。「不殺生」「不偷盗」「不邪淫」「不妄語」「不両舌」「不悪口」「不綺語」「不貪欲」「不瞋恚」「不邪見」という十の戒です。これらには、自律的に「くをしなさい」という意味と、「だからくしましなさい」というふたつの意味があります。たとえば不殺生という戒。私たちが命のあるものは、なによりも命を失いたくないと考えます。華厳経の説明を見ると、不殺生と書いてあります。とこころが、もうちよつと説明を読んでいくと、「命あるものに對して、常に利益・慈愛の心を生ずる」と書いてあります。自分と向かい合う中では生き物を殺さない、命を傷つけないという戒を保ち、一方で命を大切に、命のあるものに利益して慈愛の心を生ずるようなことしなさいという二重の意味があるのです。それは自分自身を見つめ向かいあう中で持つべきことと、人他者、社会、自分の周りとの関係の中で、どういふ心を持ち、どういふことをしましなさいという二つの意味なので、とても広がりがある

教えることがわかります。十善戒の他の戒についても同様のことを言うことができます。不偷盗では、盗まないと同時に分かち合いなさいという意味があります。これはボランティアの考えに繋がります。

僧侶は戒を授けられたら、そのままにしないで懺悔をします。自らを省みて戒をおろそかにしたのであれば、告白して、戒を心がける気持ちを新たにします。仏教儀礼としては五体投地などの所作がそれにあたります。このように戒を通して、私たちは、まず人の心



五体投地の所作

にどういふ禍の扉があるのかを学び知り、眼の前に事が起こった時に、今がその戒にたつた時だということに気づくことができます。気づいたらどうすべきか自分で考えます。更にどのように行動するかを思い描いて実行する。この力を戒といふのは育ててくれるのです。このプロセスは私たちが生きることの基本だと思えます。慈雲尊者という方が、十善は「人となる道」と言われましたが、「人となりを創る道」ではないかなと私は思っています。

編集後記

酷暑の日々が続いてありますが、皆様お変わりございませんか。先日、矯正・保護支部 ぎんなん会の支部総会に参加させて頂きました。総会では、元札幌矯正管区長の中島学先生が、「矯正・保護から更生支援」というテーマでご講演されましたが、大変勉強になりました。

校友会は、龍大卒業生の親睦の場であるとともに、卒業生の大切な居場所のひとつであります。特に職域支部においては、自らの仕事に関連する大切な居場所となりま。今回矯正・保護支部の総会に参加し、校友会の存在意義を再認識した次第です。(清水卓智)